



ROTARY CLUB OF

NARA - WEST

DISTRICT WEEKLY BULLETIN
2650 No. 2505 2024. 4. 18

創立 1969年(昭和44年)12月13日
例会日 毎週木曜日18:00より
事務所 〒630-8001 奈良市法華寺町254番地
例会場 奈良ロイヤルホテル内
TEL 0742-34-1131 FAX 0742-30-2000

2023~2024年度
国際ロータリーのテーマ

2023~2024年度
地区のスローガン



世界に希望を生み出そう

「個性、基本、求心力」



2023-24年度 内輪会トロフィー

国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

RI第2650地区ガバナー
中野 博美

会長	中西 吉日出	副会長	有馬 康明	会長エレクト	佐川 寛一	直前会長	渡邊 巖	幹事	笹本 麻琴
会計	福川 益則	会場監督	野阪 幸男	理事	井上 直治	理事	谷垣 嘉輝	理事	川野 隆祐
理事	松中 隆	会報委員長	岡崎 義幸						

今月は 環境 月間です

第26回(2505回)例会プログラム令和6年4月18日(木)

1. 開会宣言 点鐘
2. ソング 「四つのテスト」
3. 来訪者紹介・出席報告
4. 会長の時間
5. ニコニコ報告
6. 委員会報告・幹事報告
7. 「台中中区RC歓迎会」
8. 閉会宣言・点鐘

第25回 (2504回) 例会報告 2024. 4. 11 ソング

「君が代」「奉仕の理想」

来訪者紹介

國友 昭様 一般財団法人自衛隊援護協会大阪支部長
Maxim Peter君 青少年交換学生

出席報告

	会員数	出席計算 免除会員数	出席会員数	欠席者数	出席率
通算2504回	36	5/7	21/29	8	76.5%
通算2502回修正	36	4/7	25/29	4	87.9%

会長の時間 (中西会長)

皆さん、こんばんは、4月になって初めての例会です。又先日の地区大会参加お疲れ様でした。それでは、前回お約束いたしましたとおり、3月定例会での奈良市での予算審議についてお話させていただきます。

去る2月29日から3月26日まで、開会されていまして奈良市議会3月定例会で議論され、議決された奈良市の一般会計予算についての概要と、議会で修正可決された予算についての報告です。

奈良市は、2月21日に市議会開会にあたり、総額1629億5000万円の一般会計予算を発表しました。数字だけを見れば前年度を129億7000万円上回り、過去最大の予算となっております。

この予算は仲川市長の4期目の最後の予算編成であり、いわゆる集大成として提案されたのであります。

ご承知のように1月に能登半島地震が発生しまして、さらに防災対策の重要さを、私たちも噛みしめているところがありますが、奈良市の予算のメインテーマは「未来成長力強化予算」を掲げて、誰もが自分らしく輝くことができ、今も未来も幸せに暮らすことができるまちを創るために重点をおいたと説明されました。

ここには二つのポイントがあり、ポイントの1番目は防災力・減災力の強化であります。

ポイントの2番目は成長の基盤づくりとなっておりますが、この説明においては、前年度までを未来に投資する種まきであり、本年度を成長の土台を強化することとして、令和7年度以降に成果を出すことと示されています。

これでは集大成の予算では無く、次の市長の任期に果実の収穫を果らせるということで、議会においても疑問の声があがっておりました。

さて、主な事業を数点ご紹介しておきたいと思いますが、報道でも出ておりましたが、インパクトのある予算内容は見あたらず、既定の事業を進めるだけにとどまり、とても次の成長のための水やり土壌強化とは感じ取れなかったのでございます。施策には5つの柱が設けられております。

一つ目は「いかなる災害からも命・生活を守る災害に強いまち」とされており、主な事業としては、既定の消防指令システムの更新や、公共施設の大規模修繕となっております。

二つ目は「子ども・家庭を支援子どもの成長を支えるまち」とされており、主な事業としては、一条高校の中高一貫教

会長の時間(続き)

育校とするための施設整備や、小中学校のバリアフリー化ということでのエレベーター設置が計上されておりますが、一方地元から反対の声が上がっている鼓阪小学校と佐保小学校を統合再編するための施設整備も計上されております。

三つめは「持続するまちへ脱炭素を実現していくまち」とされており、主な業としては新クリーンセンター建設を七条地区に建設する方針により、必要な関連調査を開始する経費や、公共施設への太陽光発電設備の導入や、民間施設への再生可能エネルギー設備等の投資補助が計上されています。

四つめは「自分らしく誰もが社会参加できるまち」とされており、主な事業としては、鉄道駅のバリアフリー化の推進や、路線バスの利便性の推進などではありますが、このような市民目線の政策の柱に、もっと多くの事業を盛り込み、力を注いで欲しいと思っておりますが、これらの意見要望を主張していくのが市議会の役目だと思っております。

最後の五つめの柱は「奈良の強みで成長を加速するまち」ですが、ここにはJR新駅周辺整備として八条・大安寺地区のまちづくりや、スポーツ施設の整備が大きなウェートを占めております。

一方中央アジア(ウズベキスタン)サマルカンド市との交流事業が計上されておりましたが、姉妹都市との交流は時代の流れの中では疑問の声が多くあり、多くの市町村が交流から撤退している現状であります。それよりも今奈良の町に溢れている外国人観光客や国内観光客の方々の経済効果を高める取り組みを充実すべきでは無いかと思っております。

その他にも多くの事業があるわけですが、今申し上げたような事業が主なものであり、貴重な財源である市税を有効に活かす予算とは言い難いものだと思っております。

奈良市の財政は数十年に亘り、税収の90%以上が、職員の人件費や借入金の元金利子支払い及び社会保障等の扶助費に財源としてとられて、財政に余裕のない硬直化の状態が続いています。

しかしこのために、住民のための施策が展開できないとの弁解は通じないと思います。

住民の声をしっかり聞き、重要な施策を知恵と工夫で予算化して、本当の意味の税の還元を展開することが重要だと思っております。

さて今回は議会中に、仲川市長が体調不安から舌癌であることを公表され七日間の入院治療をされましたが、現在は復帰して公務に当たられている訳ですが、その間に議会は大きく紛糾し、市長の新年度予算案に対する異論や反対意見が広がったのであります。

次にはそれら議会の議論についてご説明しておきます。

第一の議論は新クリーンセンター建設事業についてですが、仲川奈良市長は七条地区に責任を持って建設するような方向性を示して以降、同地区住民の方々から反対の誓願が議会に提出され、議会の委員会でも審議中にあるにも関わらず、さらなる議論の場を広げると言うこと理論で、先程の七条地区の調査経費を新年度予算に計上する一方、議会の開会直前には基本計画案を公表するなど一方的な展開を進めてきたのであります。

議会の多くの会派では、この市長の強引な手法を問題視して、慎重審議の結果このクリーンセンター建設の関連経費の予算を減額する修正案を可決いたしました。

その他にもウズベキスタン・サマルカンド市及びオーストラリア・カウラ市との交流経費や、宿泊税導入検討懇話会経費など数点の予算を減額修正する一方、先程申し上げた鼓阪小学校の廃止統合などの課題について、奈良市はもっと住民の声を聞き、住民に寄り添った行政運営を進めるべき等多くの意見要望があがりました。

最終的に、市議会は約3億3000万円の予算を減額修正した訳ですが、仲川奈良市長に対して議会は多くの意見を結集して、正しい議論の結果を提起したと思っております。

市長にはこれらの意見をしっかり受け止めて、行政と議会の情報の共有と連携を進めるようお願いしたいところですが、新年度に入り市長は、クリーンセンター建設の七条地区での建設計画に対する市民のパブリックコメントを募集すると発表して、またもや議会では異論がでておりますが、今後さらに奈良市の行政運営には注意していくべきと思っております。

皆様には、奈良市行政の動向には正しい目を向けて注視していただき、多くのご意見を住民代表であります市議会に届けていただきますよう、くれぐれもお願ひして、簡単ですが令和6年度の奈良市一般会計予算の概要と3月定例会議会の状況についての説明を、終わらせていただきます。

以上で会長の時間とさせていただきます、ありがとうございました。

幹事報告 (笹本幹事)

理事会例会変更情報は表の掲示板に掲載しております。

理事会報告

報告事項

1. グローバル補助金の件

グローバル補助金の申請を行う事になりました。中西会長と笹本とでグローバル補助金を取得する、台湾の高雄啓禾ロータリークラブ主催の事業に国際共催クラブ参加として参加します。

2. 卓話について

4月11日は「被災地の命に向き合った144日」(一財)自衛隊援護協会大阪支部長 國友 昭 様

4月18日は、台中中区ロータリークラブ訪問歓迎例会

4月25日は、早朝例会

5月9日は、少林寺拳法の卓話 タイトルは未定 成瀬様

5月16日は、休会

5月23日は、合同例会 平城京

5月30日は、第3回家族親睦会

3. 留学生マキシム君の件

ホストファミリーの件ですが、現在のホストファミリー平田様から4月28日に下村会員の自宅になります。

本来最終ホストは、内藤会員の予定でしたが退会された為に変更しております。

審議事項

1. 5月30日家族親睦会について

檜原神宮正式参拝→梅乃宿酒蔵見学→邸宅レストランヴェルデ辻甚フレンチフルコース(手品師、ビンゴ大会等)に決定しました。

2. 台湾の花蓮県震災義援金について

金額は本会から5万、あとは募金箱を設置して会員より集める、RIを通して行う事になりました。

3. 退会届について

相澤会員より退会届が届きました、諸事情を考慮し受理致しました。

会員誕生祝



会員ご夫人の誕生祝

■4月生まれ■

川崎祥記P会長夫人	雅子様	4月9日生
井上直治会員夫人	順子様	4月9日生
佃 尚彦P会長夫人	智子様	4月14日生
品川賢太郎会員夫人	恭子様	4月17日生
川上顕慶会員夫人	裕美子様	4月27日生

皆様、おめでとうございます！

■4月生まれ■

福川 益則会員	4月7日生まれ
北林 秀彦P会長	4月30日生まれ

皆様おめでとうございます

中西吉日出会長

元奈良市危機管理管理監の國友様、被災地の命に向き合った144日、13年前の東日本大震災の現状についての本日の卓話、どうぞよろしくお願いいたします。

三木武彦P会長

台湾東部沖地震、台中ロータリークラブ地方の災害にお見舞い申し上げ一日も早い復興をお祈りしています。

渡邊巖P会長、谷垣嘉輝会員、松山悦啓会員、東山光秀会員、野阪幸男会員、福川益則会員、加藤又拡会員、岡崎義幸会員、丸山佳映会員

本日の卓話有難うございます。國友様の長年の経験から現場のお話しとても楽しみです。ニコニコ

笹本麻琴会員

地区大会参加お疲れ様でした。あと2か月と少しよろしくお祈りいたします。

卓話

「被災地の命に向き合った144日(東日本大震災の現場から)」

一般財団法人自衛隊援護協会大阪支部長 國友 昭 様

1 第22普通科連隊(22連隊)の概要

2 地震発生直後の状況 =

2011年(平成23年)3月11日14時46分地震発生

3 人命救助活動など

22連隊で、4,775人の人命を救助するとともに、450体のご遺体を収容

4 生活支援活動など

5 教訓となった事項

- ① 普段からの訓練や分析・計画の大切さ⇒いざという時には、普段やっていること、考えていることしかできない
- ② 柔軟な部隊運用 = 計画通りにはいかないことを銘記⇒ 臨機応変防災力の必要性
- ③ スピード感 = 時間との闘い
- ④ 状況把握能力の充実(ICTの活用と通信インフラ充実)
- ⑤ 平素からの幅広い関係機関等との連携強化(相互理解と顔の見える関係)
- ⑥ 家族の安否確認のための方策
- ⑦ 交通路の確保
- ⑧ 活動の見える化と見える化を前提とした行動
- ⑨ 治安
- ⑩ 隊員(職員)の健康管理
 - 強く感じたこと
 - ・ 災害の恐ろしさ
 - ・ 日常の安全な生活への感謝
 - ・ 救えなかった命への後悔
 - ・ 公助を担う人達も被害を受ける
 - ・ 災害は本当に起こる！



6 奈良市で想定される主な災害リスク

- 奈良盆地東縁断層帯地震(内陸型地震)
- 南海トラフ巨大地震(海溝型地震)
- 激甚化・頻発化する豪雨災害 = 記録的短時間大雨情報の全国的な増加

=常日頃からの防災習慣=

- ① 住宅の耐震化と家具の転倒防止等 ~死なない対策~
 - ・ 住宅などの耐震化
 - ・ 家具の固定や転倒防止
 - ・ 特に寝室に注意。できるだけ家具は置かない。
 - ② 災害の危険性についての理解
 - ・ 土砂災害(特別)警戒区域、浸水想定地域、地震ハザードマップなど、自宅周辺の危険個所の確認を(市のホームページなどで確認可能)
 - ・ 正常性バイアス(「自分は大丈夫」との思い込み)の排除を
 - ・ 他人事 ⇒ 我が事化
 - ・ 「自治体の防災情報メール」や「Yahoo!防災アプリ」などへの登録を
 - ③ 避難場所や経路の確認
 - ・ 避難所マップ(災害の種類別に設定、市のホームページなどで確認可能)
 - ・ 歩いてみて、現地・現物で確認を
 - ④ 安否確認のための家族との話し合い
 - ・ NTT災害用伝言ダイヤル「171」の使い方を確認
 - ・ 携帯電話用「災害用伝言板」の使い方を確認
 - ・ 代替手段の確認(Twitter、Skype、Facebookなど)
 - ・ 家族と落ち合う場所を確認
 - ・ 勤務先もしくは学校からの徒歩での帰宅ルートを確認
 - ・ 家族防災会議の開催を
 - ⑤ 日常備蓄等
 - ・ 非常持出袋 : 成人男性で15Kg、女性で10kgが目安
 - ・ 日常備蓄 : ローリングストック法などで、1週間分以上が目安
 - ⑥ あいさつ運動 ~日頃のあいさつ運動が自らの命を守ることに繋がる~
 - ・ 地域におけるコミュニケーション作り・絆作り = 共助とともに、自助に繋がる
 - ・ 家族の中でも、「今日は、明日は、どこに行って何をするか」をお互いに話し合う = 安否確認の負担軽減
- その他
- ・ 車はいつも満タン ・ 携帯は毎日充電 ・ 枕元に靴などを準備

自己紹介

(一財)自衛隊援護協会大阪支部長 國友 昭

地域防災マネージャー(内閣府認定) ・ 防災士

【自衛隊の現場指揮官などとして、19回の災害派遣を経験】

1962(昭和37)年 生まれ(高知県黒潮町(南海トラフ地震で34mの津波予想))

1985(昭和60)年 防衛大学校卒業・自衛隊入隊
(北海道・東京(防衛省本省など)・静岡・兵庫等で勤務)

2006(平成18)年 第13旅団3部長(広島)

2009(平成21)年 第22普通科連隊長・多賀城駐屯地司令(宮城)
(東日本大震災の1年半前に着任)

2012(平成24)年 第12旅団幕僚長(群馬)

2013(平成25)年 京都地方協力本部長(京都)

2016(平成28)年 第14旅団副旅団長(香川)

2016(平成29)年 中部方面混成団長(大津)

2018(平成30)年 陸将補で定年退官・奈良市入庁(危機管理監)

2023(令和5)年3月 奈良市定年退職 → 同年6月 現職



112日間のひげ
(東日本大震災の当時)

2009(平成21)年7月
防府市ゲリラ豪雨

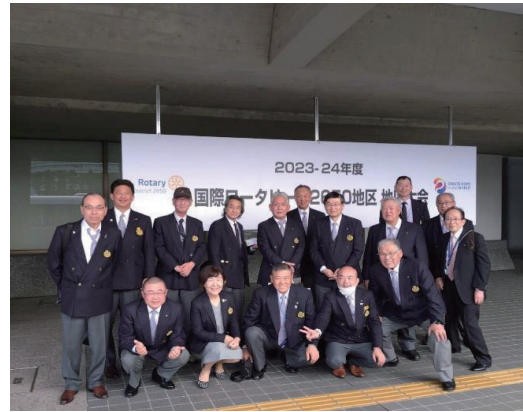
2011(平成23)年3月
東日本大震災

2013(平成25)年10月
伊豆大島台風26号

2018(平成30)年7月
西日本豪雨

地区大会

4月6日(ザ・プリンス京都宝ヶ池)・7日(国立京都国際会館)に地区大会が開催されました。



社会奉仕活動



4月10日なら100年会館にて行われました「春の交通安全運動市民決起大会」に参加致しました。

第27回 (通算2506回)例会予告
例会日 令和6年4月25日(木)

「早朝移動例会」

霊山寺にて